

江東公会堂（ティアラこうとう）の改修について

1 検討背景

- ・ 開設後約 28 年が経過、大規模改修の検討時期が到来。
- ・ 建物の経年劣化の進行に加え、ホール・劇場に関する法令の施行など、施設を取り巻く環境も大きく変化。
- ・ 単に原状回復を図るだけでなく、文化芸術活動や文化芸術鑑賞を行う区民のニーズ等も把握しつつ、機能更新を行っていくことが必要。

表 江東公会堂(ティアラこうとう)の概要

開設年月	1994 年(平成 6 年)12 月			
改修履歴	小規模改修 (平成 19 年・平成 28 年)			
構造	地上 5 階、地下 2 階			
面積	敷地面積	6,352.5 m ²	延床面積	13,392.7 m ²
主要施設	大ホール(1,228 席)、小ホール(140 席)			
	練習室、会議室、駐車場等			
提携団体	東京シティ・バレエ団			
	東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団			

2 検討経過

- ・ 令和 4 年 2 月までに長期計画推進委員会、有識者意見交換会（3 回）を開催し、江東公会堂（ティアラこうとう）の改修のあり方について検討。

3 今後の取組み

- ・ 改修後の本施設の目的・目標の具体化、改修にあたっての技術的諸課題に関する検討の深度化を通じて、令和 4 年度中に改修方針を整理する。
- ・ なお、改修方針の整理にあたっては、令和 4 年 3 月に公募型プロポーザル方式による事業者公募を行い、令和 4 年度に「江東公会堂大規模改修方針検討業務委託」の実施を予定。